

平成25年度（2013年度）日本留学試験

日本語

（125分）

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～29
聴読解	31～45
聴解	47～50

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**，**2**，**3**，…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*				*						
名前													

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400～500字程度で書いてください
(句読点を含む)。

- ① 現代では、住み慣れた場所を離れて、文化や言語の異なる国や地域に移り住む人が増えています。このような場合、移り住む人は、「その地域の文化や言語を学ぶ」、「自分の文化や言語を相手に伝える」などして、その地域の人々とよい関係を築こうとします。
あなたなら、その地域の人々とよい関係を築くためにどうしますか。上の二つの例に触れながら、あなたの意見を理由とともに述べてください。

- ② 自分を成長させたり向上させたりするためには、「得意なものに集中して、より高いレベルを目指す」という方法や、「苦手なものに集中して、苦手なもののレベルを上げる」という方法があります。
あなたなら、自分の成長や向上のためにどのようなことをしますか。上の二つの方法に触れながら、あなたの意見を理由とともに述べてください。

——— このページには問題はありません。 ———

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

I (A) に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

1

私たちは自らの思い込みで現実の世界を見ていることがある。その思い込みと、見えていることが異なっている場合、見えているものが「おかしい」とってしまう。こういうことは、身近な生活にもよくある。

オゾン層破壊の話も、その例である。オゾン層の破壊は、南極上空に*オゾンホールが発見されて、「おかしいぞ」ということになった。しかし、実際にはオゾンホールが発見される何年も前から、データにはおかしい値が出ていた。

このようなことは、しばしばあることである。科学者や研究者は一般に「こんな変なデータが出るわけない」「あり得ない」「シミュレーションとしても絶対こんなデータは出ないから、これは計測機器の間違いだろう」と、データをまったく無視してしまう。「あり得ない」「この範囲のはずだ」と思っていると、それ以外のデータは見えなくなってしまう。(A)。

(枝廣淳子・内藤耕『入門！ システム思考』講談社)

*オゾンホール：オゾン層で、オゾンの濃度がまわりよりも低い部分

1. データがいかに信用できないかをよく示している例である
2. 科学者でないほうが理解できることもあるのである
3. 先入観が、現実の世界の理解を妨げるのである
4. 科学者だからこそ、冷静に判断できたのである

II 次の文章で、広告・販売促進の特徴として、適当なものはどれですか。

2

広告とは「マスメディア（テレビ，新聞，雑誌，ラジオ）」や「屋外広告」「インターネット」などをおして，対象となる生活者に対し，「企業そのもの」「商品」「サービス」などのPRをする行為である。短期間で広範囲の多数の人々に同質のメッセージを効果的に伝達することができるのが特長である。しかし，実際に伝達したいターゲット以外にも同時に伝わるため，無駄な部分も多くある。

それに対し，先行した広告と連動するのが「販売促進（セールスプロモーション）」である。広告を「補助」し，「支援」し，企業や商品の知名度やイメージを上げる目的をもつ。

「販売促進」には，さまざまな手法がある。カタログ，チラシ，展示会，店頭でのデモンストレーション販売，ダイレクトメール，プレミアム，POPなど。ターゲットを絞り込んで直接接触し，効率よくメッセージが伝達できる手法である。

（津田憲一『プロデュースの力』教育評論社）

1. 広告は，伝えたい対象者にだけメッセージを伝えることができる。
2. 広告は，商品を短い間に広く知らせるのに効果的である。
3. 販売促進は，テレビや新聞，インターネットを通じて行われる。
4. 販売促進は，対象者以外にもメッセージが伝わるため非効率的である。

III 次の文章で、筆者は、上級者になるとどんなことができるようになると言っていますか。

3

中級者まででは、教えてもらう相手はもっぱら自分より上級の人である。上級者になると、教えてもらうというよりは、他者の技能を見て考える、見て盗むという部分が大きくなる。それは、自分より明らかに技能のまさる人というのが少なくなるということと、さらに、技能のコードとコードシステムが頭のなかで整備されるので、見ただけで*要諦を見抜き、記憶する能力が高まるからである。

そのようになってくると、自分より総合的には劣る人の技能を見ても、部分的にすぐれたところを見抜き、それを取り入れることができるようになってくる。同程度の人だけでなく、自分よりも未熟な人からも学ぶことができるのは、上級者であるかどうかのひとつの大きな判断基準である。また、初心者に対しても、その人の長所を指摘してあげることができるので、指導を受ける人が伸びるようになる。

このような域に達すると、当初に読んだ入門書のようなものを読み直しても、そこからあらたに得るものが出てくるようになる。そうして、初心者を対象としたもの、基本的な技能を解説したものを、あらたな面白さを感じながら読むことができるようになる。

(岡本浩一『上達の法則』PHP研究所)

*要諦：物事の大切なところ

1. 自分よりすぐれた人の技術を参考に新しい技術を作り出すことができる。
2. 自分より技能の劣る人の中に自分にはない優秀な点を見つけ、活用できる。
3. 初心者の未熟な点を指摘して直してあげることができる。
4. だれにとってもわかりやすい入門書を著すことができる。

IV ニシキテッポウエビが、*ハゼと一緒に住む利点は何ですか。

4

ニシキテッポウエビと共生しているのは、ダテハゼやヒメダテハゼです。ハゼはいつも巣穴の入口にしっぽをさしこむような姿勢で見張りに立っています。エビは穴の中からのぼってきて、出口に近づくと、体の倍もある長い触角でハゼの尾びれに触ります。すると、外に危険のないときには、ハゼは尾びれをゆっくり動かして安全のサインを送ります。そこではじめて、エビは穴から外に出ます。

穴の外にいるときには、エビは絶えず一方の触角でハゼのひれに触っています。危険が近づくと、ハゼはひれをはげしく震わします。このサインがくると、エビは即座に後ずさりして、尾から穴の中に逃げ込みます。どんな時にハゼが危険信号を送るかという、大形の魚と、中形でも動物を食う魚が近づいた時です。

… (略) … 自力で穴を掘れないハゼにとって、他の動物の穴に居候するのは安全でうまい方法です。

(本川達雄『生物学的文明論』新潮社)

*ハゼ：水底に生息する、全長20センチほどの魚

1. ハゼは、ニシキテッポウエビの敵が近づいたことを知らせしてくれるから
2. ハゼは、ニシキテッポウエビに住む場所を提供してくれるから
3. ハゼは、ニシキテッポウエビの敵を追い払ってくれるから
4. ハゼは、ニシキテッポウエビに住む場所を掃除してくれるから

V 次の文章で、筆者は、芸術作品とはどのようなものだと述べていますか。

5

芸術作品を立体的に理解しようとするとき、作品を受容するわれわれの側の「眼の習慣」の妥当性や普遍性について、少なくとも問題意識は持つておかねばならない。われわれがものを見て判断する基準は、かならずしも個人の主観や感性だけに由来するわけではない。われわれは真空のなかに*ぼつねんと浮かぶ無機質な幾何学的存在ではない。自分が育ち、生きる時代の空気を呼吸している。そして、その時代や社会自体も、生き物と同じく多様かつ有機的な成り立ちをもち、日々生成変化をとげる。

したがって異なった**時空にある「作品」と向かい合い、それを理解しようと望むならば、美的な価値判断をも含めた、われわれ自身の判断基準や価値観の由来を問いなおしてみることもまた必要ではなからうか。作品を前にするわれわれと同じく、当然のことながら、「作品」もそのつくり手も特定の時代や社会の子なのであるから。かならずしもわれわれと似通った価値観をもっているとはかぎらない。そこにわれわれの日常的スケールでは計り知れない時空が介在する場合を想像していただきたい。

(清瀬みさを『人文学としての芸術研究』法律文化社)

*ぼつねん：一人だけで寂しそうにいる様子

**時空：時間と空間

1. 芸術作品には、時代を越えた普遍的価値観が存在する。
2. 芸術作品には、その当時の時代や社会の価値観が反映されている。
3. 現代美術と違って、過去の芸術作品には明確な時代様式がある。
4. 芸術作品はいつの時代でも、社会の価値観から独立している。

VI (A) に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

6

たとえば、鏡を見ながら身だしなみを整えるときのことを考えてみよう。鏡に映った自分の姿を眺めているその視点は誰のものだろうか。髪の毛の寝ぐせを直すとき、曲がったネクタイを直すとき、口紅の色が派手すぎないかとチェックするとき、それはいったい誰の視点からそうしているのだろうか。そのような場合、重要なのは自分自身にとってどう見えているかということではない。そうではなく、肝心なのは、他人の目にそれがどう映るかということだ。寝ぐせや曲がったネクタイでは他人から笑われるのではないかとか、口紅があまりに派手だと他人に変に思われるのではないかとか、要するに、鏡のなかの自分を眺めるとき、人は (A) のである。

(浅野智彦「自己を社会学的にみる」張江洋直・大谷栄一編『ソシオロジカル・スタディーズ』世界思想社)

1. 自分の欠点を探している
2. 自分らしさの表現にこだわっている
3. それを他者の視点で眺めている
4. それを自分とは思わずに眺めている

VII 次の文章はある本のあとがきです。筆者はこの本について、どのように述べていますか。

7

本書はいわゆる「専門書」ではありませんが、本書に書いたようなことは他の専門書を見ても書いてあるわけではありません。もともと私は、専門書と啓蒙書^{けいもうしょ}とを区別するのが嫌いなのです。ガリレオの『天文学対話』や『新科学対話』のように、「もっとも本格的な研究書は啓蒙的でもある」というのが私の考え方なのです。そこで私は、自分の研究成果が「一般の人々にも知らせるに値するほどにオリジナリティーがある」と思えるときには、いつもその研究論文を大衆的な言葉で書くということをしてきました。そして、この本もそういうものと考えています。

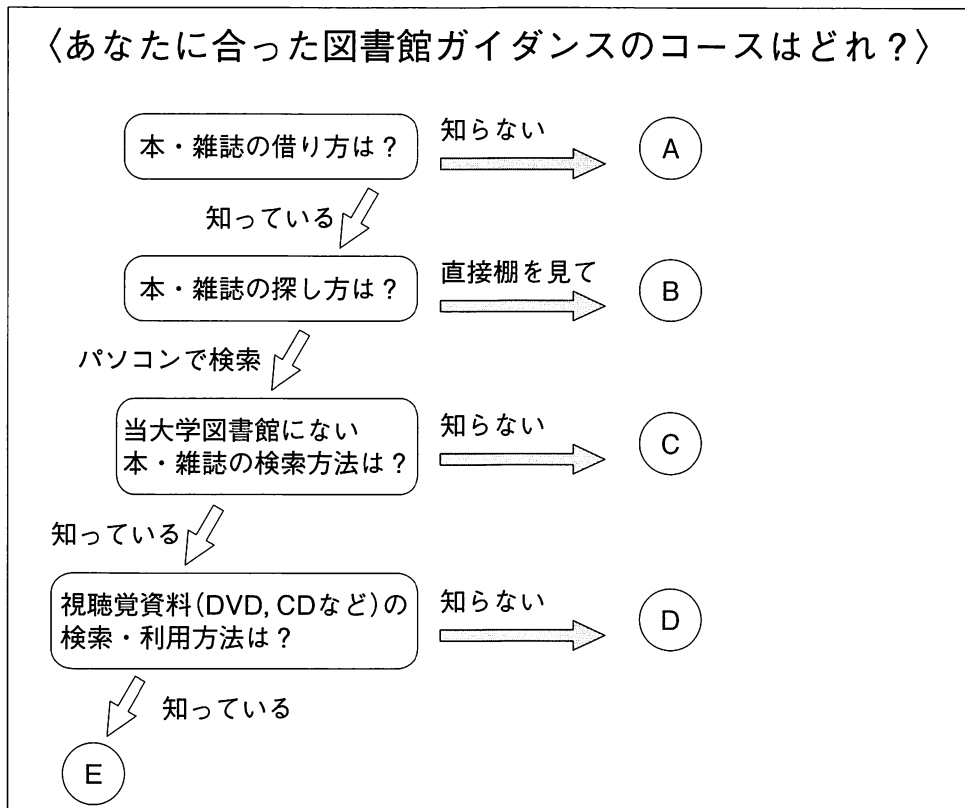
そこで、これに相当する専門書をべつに書こうとは思っていません。「専門書としてもこれでほぼ十分だ」と考えているからです。重要な典拠論文などは本書の中でも、一般の人々に*煩瑣^{はんさ}と思われない範囲で書き込んでありますから、本書のほかに専門家向きの論文を書くまでもないと思っています。

(板倉聖宣『模倣の時代 下』仮説社)

*煩瑣：こまごまとしてややこしいこと

1. この本の内容は、昔の有名な研究について紹介したものである。
2. この本は専門家向けであり、人々への啓蒙^{けいもう}を目的としたものではない。
3. この本は、ガリレオの著書をわかりやすく説明したものである。
4. この本では、専門的な内容を一般の人でもわかる言葉で書いている。

VIII 次の文書は、大学図書館のガイダンスのコースを選ぶときの資料です。この資料を読んで、結果がCにあてはまる人は、どのコースを受けるのが適当ですか。 8



1. この大学の本・雑誌をパソコンで検索する方法を知るコース
2. 他大学の本・雑誌が探せるようになるコース
3. 本・雑誌以外の資料の検索方法を知るコース
4. 図書館の利用方法全般を学ぶコース

IX 次の文章で、「アケビ」が市場に出回らない理由として、最も適当なものはどれですか。

9

今の若い人は、アケビという果物をよく知らないかもしれない。ちょうど長ナスのような形をして、熟れてくるとポツカリとまん中が割れてくる。

この割れ目を裂くと、中から実いっぱいのアズキぐらいのタネが出てくる。このタネは白いアイスクリームのようなものに包まれていて、とても甘く、ほのかな香りがする。実においしい、昔懐かしい秋の味覚だ。

でも口に入れたものは、ほとんどが黒いタネだから、口の中でモグモグしたあと、ぜんぶ吐き出さなければならない。これが面倒だし、だいいち食べる部分のごくわずかだから、お金を出して食べる果物ではない。

アケビが市場に出回らず、里山でも見かけなくなったのは、こんな理由からなのだろう。実に残念でならない。

(大槻義彦「たわわに実るアケビを堪能した木曾駒登山」『週刊日本百名山』17号 朝日新聞社)

1. 若い人がアケビという果物をよく知らないから
2. 里山でもあまり見たことがない果物だから
3. 食べるのが面倒で、食べる部分が少ないから
4. アイスクリームのようなものに包まれているから

X 乳幼児がジェスチャーを伝達的手段として理解するために必要なことはどれですか。

10

ソ連の心理学者ヴィゴツキーは、*ジェスチャーが社会文化的機能を持つようになるのは次のような順序であるとしている。乳児が物に指さしをしたり物に向ってつかみかかる動作をする。このとき母親が例えばことばで「これが欲しいの?」と言いながらそれを取ってやったりすることによって指差しや、つかむ動作が乳児にとって伝達の機能を持ったジェスチャーとして認識されるようになる、というのである。つまり、乳児の指差しなどの動作に対して母親が適切に反応^{はんのう}することによって、その動作が指示的な機能を持つようになり、乳幼児がジェスチャーを伝達的手段として使おうという意識の動機づけになるのである。

(伊藤克敏『こどものことば』勁草書房)

*ジェスチャー：意思や感情を表すからだの動き

1. 母親がジェスチャーをしてみせること
2. 好きなようにひとりで遊ばせること
3. 乳幼児の動作に母親が反応すること
4. ある動作を繰り返し練習させること

XI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

ドラマの作り手には、作品の間口を広げれば、たくさんの人が見てくれるという幻想がある。私自身も、お茶の間に家族が集まって見るようなドラマを作りたいという夢がある。でも最近のテレビは、視聴者全員が面白いと思う作品を^{ねら}狙いすぎている。^{だれ}誰にでも分かる表面的な笑いや*刹那的な表現を追いかけがちだ。

制作費の減少など、現場を囲む外的な状況は悪くなるばかりだ。でも、良い兆しもある。数年前から、俳優の人気に頼るだけで作品があたるような時代じゃなくなった。かえて、作り手がやりたいものをやれるようになった。

失敗してもいいからこれをやりたい、という覚悟が制作現場に必要だ。私は、作品のメッセージ性を重視したいと思っている。「いじめ」という主題を扱うなら、「いじめはいけないんだ」というところまで言い切ることが必要。視聴者に^{ゆだ}委ねてしまうのはダメだと思っている。

(井上由美子「女性脚本家が語る」朝日新聞2010年1月1日 元日特別版)

*刹那的：その場かぎりの

問1 筆者は、最近のテレビがどうであると述べていますか。

11

1. 大衆受けを求めすぎている。
2. 制作費を使いすぎている。
3. 俳優の人気にばかり頼っている。
4. 社会問題ばかり扱っている。

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

12

1. 視聴者が見たいドラマを作るべきだ。
2. 人気俳優がたくさん出演するドラマを作るべきだ。
3. ドラマでは作り手の考えをはっきり伝えるべきだ。
4. ドラマは家族みんなが楽しめるものであるべきだ。

XII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

アメリカをはじめ欧米諸国の建築教育とわが国のそれとは、かなり違いがあると言われていますが、その最大の相違点は、建築教育における構造教育の位置づけのようです。わが国では、建築教育における構造教育の比重が極めて大きく、デザイン教育と同等か見方によっては、それ以上の比重を占めているとも言うことができます。

さらには、構造教育が理想的な建築空間の実現を目指すこと以上に、建築の耐震性の確保を中心テーマに据えた教育プログラムのように思われるほどです。これは、近代化がやっと軌道に乗りはじめた時点でいくつかの地震による災害を目の当たりにした建築教育の*先達^{せんだつ}たちが受けた衝撃の強さを色濃く反映したものと言えます。

芸術性の高い、すばらしい建築を設計することに大きな夢を抱いて建築学科に入学してきた若者たちにとって、数学や物理的要素の強い構造学の学習は、大きな（ A ）のようですが、わが国の置かれている自然環境を考えると、やむをえないと言えるでしょう。構造の知識の豊富な建築家と建築がわかる構造技術者の養成によって、安心できる建築や都市をつくることを、先達は目指したのでしょうか。

（精木紀男「地震国での建築と都市づくり」建築学教育研究会編
『新版 建築を知る』鹿島出版会）

*先達：その分野の発展に貢献した人

問1 (A)に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

13

1. 希望
2. 弱点
3. 目標
4. 負担

問2 「わが国」の建築教育の特徴として、最も適当なものはどれですか。

14

1. 構造教育よりデザイン教育に重点を置いている。
2. 耐震などの構造教育に、欧米諸国以上に力を入れている。
3. 芸術感覚にすぐれた建築家の養成を最優先としている。
4. 理想的な建築空間の実現を目指した構造教育が中心である。

XIII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

1900年代前半に、生物に取り込まれた食べものは、どこへ行き、どうなるかを調べる実験が行われました。実験では、ある方法で元素に目印を付け、その元素を含む*アミノ酸を作り、それをネズミに食べさせました。

実験を行った科学者は、そのアミノ酸は体内で燃やされ、ある程度時間が経ったら、目印を付けた元素を含む燃えかすが体外に排出されると予想しました。ところが結果は、その予想に反するものでした。目印を付けたアミノ酸は全身に運ばれ、その半分以上が、体中のさまざまな組織や臓器（脳、筋肉、消化器官、骨、血管、血液など）を構成するタンパク質の一部となっていたのです。

また、実験期間中にネズミの体重は増えませんでした。体内に取り込まれたアミノ酸が体の一部になったのなら、その分、体重は増えるはずですが、そうではないということは、今まで体を構成していたアミノ酸が体外に排出されたと考えられます。実験の次の段階で、（ A ）結果が出ました。目印を付けていないアミノ酸を同じネズミに与えてみると、今度は、以前に取り込まれ体の一部となっていたアミノ酸が分解され、排出される様子が確認されたのです。

（福岡伸一『生命と食』岩波書店 を参考に作成）

*アミノ酸：アミノ基とカルボキシ基を持つ化合物で、タンパク質を構成する

問1 (A)に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

15

1. 予想に反する
2. 予想とは別の
3. 予想を超える
4. 予想通りの

問2 これらの実験の結果からわかったことはどれですか。

16

1. 取り入れられたアミノ酸は体内に残らず、体外にそのまま排出される。
2. 新たに食べたアミノ酸が、以前のもので次々に入れ替わりながら体を形作る。
3. 体に取り込まれたアミノ酸のほとんどが、エネルギー源として利用される。
4. 以前に取り込まれ体の一部となっていたアミノ酸も、排出されず再利用される。

XIV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

まちづくりと観光のこれからについて、次の三つのキーワードから考えてみようと思う。まずは住民たちによって構成される生活共同体である「地域社会」、次にその地域における経済活動に関わる「地域経済」、そしてその地域の自然や生活環境などを表す「地域環境」である。

まちづくりと観光は目指す方向性が異なるものとして語られることが多い。そもそもまちづくりとは、地域社会を基盤として、その構成員である住民の生活に関わる地域環境を守り、向上させていこうという運動である。その地域に生活する住民が中心となって行われるため、部外者のことは除外して考えられることが多い。またほとんどの場合、利益を得ることが目的ではないため、地域経済への貢献は優先されない。

これに対して観光は、地域環境を資源として活用し、地域経済を発展させることが中心の活動である。活動の主体は観光事業者であり、事業全体が経営的視点で進められていくのが観光だといえる。地域社会に関しては、トラブルを避けて、むしろ距離をとろうという姿勢である。

このように、一見、相反するかのようにみえるまちづくりと観光だが、先の三つのキーワードをうまく調和させることで、両者が歩み寄る道があるのではないだろうか。たとえば、まちづくりではおろそかになりがちな地域経済を、観光の視点から見直して活性化できないだろうか。また、地域社会の力で地域環境を魅力あるものにできれば、観光の促進につながり、地域経済にも大きく貢献するに違いない。

ただ相違点ばかりを強調するのではなく、相似点や互いに補い合える長所をいかすことで、まちづくりと観光がともに発展していけるような視点での活動が求められるのではないだろうか。

(西村幸夫編著『観光まちづくり』学芸出版社 を参考に作成)

問1 三つのキーワードのうち、現状で「まちづくり」と「観光」のどちらにも関わりが大きいのはどれですか。 17

1. 地域経済
2. 地域環境
3. 地域社会と地域経済
4. 地域社会と地域環境

問2 この文章で、筆者が最も言いたいことはどれですか。 18

1. まちづくりと観光は、別個のものとして考えていくべきだ。
2. まちづくりは、観光事業者が主体となって行うほうがうまくいく。
3. まちづくりは、観光より優先して取り組むことが望ましい。
4. まちづくりと観光は、互いの特性をいかしつつ共存できるはずだ。

XV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

法と道徳は異なる社会規範ではあるが、実際には、法と道徳は密接に関係している場合が多い。例えば、人を殺してはならない（殺人罪）とか、借りた物は返さなければならない（貸借契約）という規範は、法規範と道徳規範が一致するものである。もっとも、法は道徳の内容をすべてとり入れているわけではない。道徳には、*「^{なんじ}汝の敵を愛せよ」のように内容があまりに高度すぎて容易に守れないものもあり、このような場合は法規範とはならず、「法は最小限の道徳」であるともいわれている。これとは別に、法と道徳の内容が重なり合わない無縁な関係もある。例えば、歩行者の右側通行を定めた交通法規や訴訟手続や国の機関の組織を定めた法などの技術的内容は、道徳的には無色である。ただし、技術的な法も定められた以上は、それを守ることは道徳の要求となる。このように、法と道徳は緊密に関係し互いにその効力を補強しあっているといえる。つまり、道徳が法に取り入れられる場合には、法的強制によって道徳を社会にいきわたらせることができるし、法もまた道徳によって支持され道徳的な**遵法意識によって裏づけられる場合には、法が社会に根を下ろし広く行われることができるのである。

（長尾良子「法と社会」上田純子・三枝有・長尾良子・森田勉『現代社会と法』法律文化社）

* 「汝の敵を愛せよ」：「あなたの敵を愛しなさい」

** 遵法：法を守ること

問1 下線部「道徳が法に取り入れられる場合」の例として、最も適当なものはどれですか。

19

1. 借りた物は返さなければならない。
2. 自分の敵を愛さなければならない。
3. 歩行者は道路の右側を歩かななければならない。
4. 刑事裁判では必ず弁護人を付けなければならない。

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

20

1. 道徳は高度で、法より尊重すべき規範である。
2. 法は道徳の内容を完全に取り入れたものである。
3. 道徳規範と一致しない法は、守らなくても道徳に反しない。
4. 法と道徳はお互いに効果を強め合っている。

XVI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

今、日本の工場からコンベヤーが撤去され、流れ作業が姿を消しつつある。代わって台頭したのは少人数、時にはたった一人で全工程をこなす「セル生産」である。

… (略) …

ベルトコンベヤーの流れ作業では多数の作業員が少しずつ工程を分担する。製品の種類によって異なるが、3、40人がコンベヤーに並んで順番に組み立てていくのが一般的だ。複雑で、部品点数の多い製品では7、80人の流れ作業ということもある。1工程の時間は数秒から2、30秒といった短さだ。専門知識や経験が浅くても1工程だけならすぐに組み立てに参加できる。平均的な能力を持った多数の作業員を使って、同じ製品を繰り返し、繰り返しつくるのに適した、まさしく高度成長期の大量生産モデルといえる。

「細胞」を意味するセルによる生産は流れ作業ではなく、全工程を数人から一人の小単位でこなす。一人当たりの工程は4、5分から場合によっては2時間にも及ぶ。作業を「分担」というよりも「全体またはある部分の組み立てを一人が完結させる」色彩が濃い。作業についての知識と経験が深くなければできない生産方式だ。当然一人ひとりの責任は重い。品質不良を起こせば誰のミスかが特定される。

(後藤康浩『強い工場』日本経済新聞社)

問1 流れ作業の特徴として、適当なものはどれですか。

21

1. 1工程当たりの作業時間が比較的長い。
2. 品質不良の責任が誰^{だれ}にあるかがすぐ分かる。
3. 作業員に詳しい知識や熟練はそれほど必要ない。
4. 少量多品種の生産に向いている。

問2 流れ作業に代わる方法の特徴として、適当なものはどれですか。

22

1. ひとつの製品をつくるのに多くの作業員が必要である。
2. 一人の人がいくつもの工程を担当する。
3. 同じ製品を繰り返しつくるのに適している。
4. 品質不良が起きやすい。

XVII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

人づきあいにはちょっとしたコツがたくさんあります。「おはよう」とあいさつし、*TPOを考えて服を選び、バスや電車の列に並び、学校や会社では笑顔を心がけ、相談されたら親身に聞き、電話やメールは早めに返すなどです。さりげなく行ってはいるけれど、このようなコツを知らなかったり無視したりすると、人間関係をそこなってしまうかねません。これらの対人関係を円滑に結ぶコツ、つまり行動のことを社会的スキルまたは生活技能といいます。社会的スキルの「社会」は人間関係を指します。

… (略) … 社会的スキルは練習次第で誰でも身につけられる技術です。使えば使うほど身について自然に行えるようになり、使わなければやがて忘れてしまい、知らなければ使うこともありません。ですから、もし社会的スキルに関わる問題が起きたら、それは技術の習熟度の問題です。対人的な問題は、スキル不足か未学習なスキルがあるためと考えます。単純な考え方ですが、この単純さは、自分にもできるかもしれないと思わせる敷居の低さや、実行の簡単さといった長所ともいえます。性格を直さなくてはと考えるより、スキルを1つ増やせばいいと考えるほうが、気が軽くありませんか？ 大声でどなりちらす、嫌みを言うなど、性格やしつけのせいにされがちな怒りっぽい行動も、社会的スキルでは、関連するスキルを知らないか、不足しているために生じていると考えます。つまり、この場合の足りないスキルとは、怒りを落ち着かせるスキル、受け入れやすい言葉で怒りを伝えるスキルといえます。

しかし、社会的スキルさえマスターすれば人生はバラ色かという、そうではありません。人間の真理はどこにあるかなどの哲学的な思索は、社会的スキルでは**たち打ちできないからです。社会的スキルは、(A) 考え方です。

(中井あづみ「スキルトレーニング」湯川進太郎編『怒りの心理学』有斐閣)

*TPO：時 (Time) と場所 (Place) と場合 (Occasion)。また、その3つの条件

**たち打ち：まともに張り合って、競争すること

問1 筆者が考える「社会的スキル」の例として、最も適当なものはどれですか。 23

1. あいさつをすること
2. 大声でどなりちらすこと
3. 哲学的な思索をすること
4. 性格を改善すること

問2 (A)に入るものとして、最も適当なものはどれですか。 24

1. 人の心を深く理解するのに役立つ
2. 実際的な対人問題に対して有効な
3. 哲学的な思索において大切な
4. 職場での実務的な技術の向上に必要な

問3 この文章の内容と合っているものはどれですか。 25

1. 「社会的スキル」を身につければ、性格が変えられる。
2. 「社会的スキル」は子どもの頃に身につけておくべきである。
3. 「社会的スキル」は誰^{だれ}でも習得でき、不足すると対人的な問題が起きる。
4. 「社会的スキル」を学習すれば、人間の真理を探究できる。

——— このページには問題はありません。 ———

聴読解問題

説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

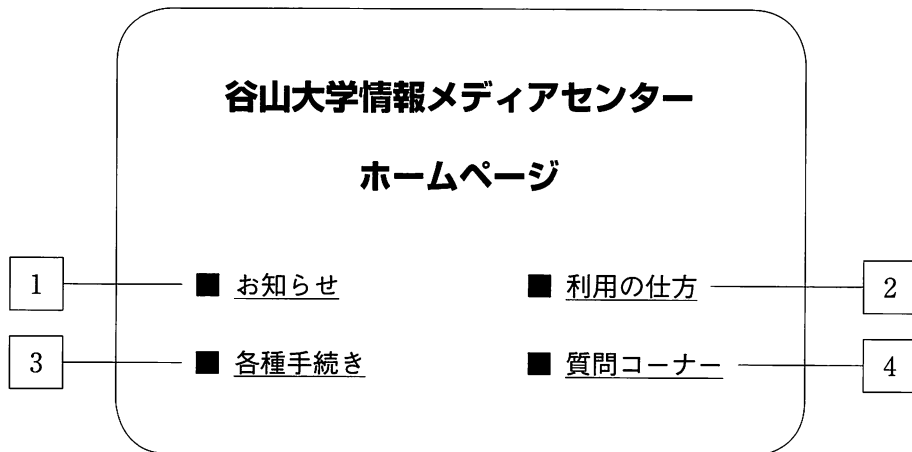
選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1 番の前に、一度、練習をします。

聴読解問題

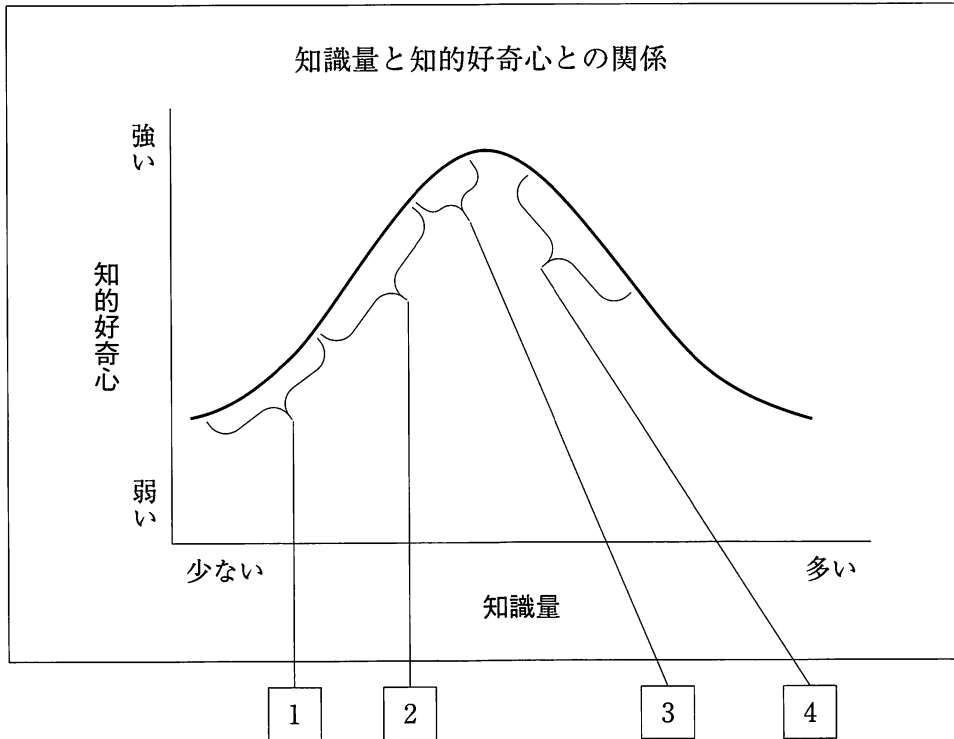
練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選ばいいですか。



1 番

男子学生が、心理学の時間に知的好奇心について発表しています。この学生の歴史に対する今の知識量と知的好奇心は、グラフのどの部分として表すことが適当ですか。 1

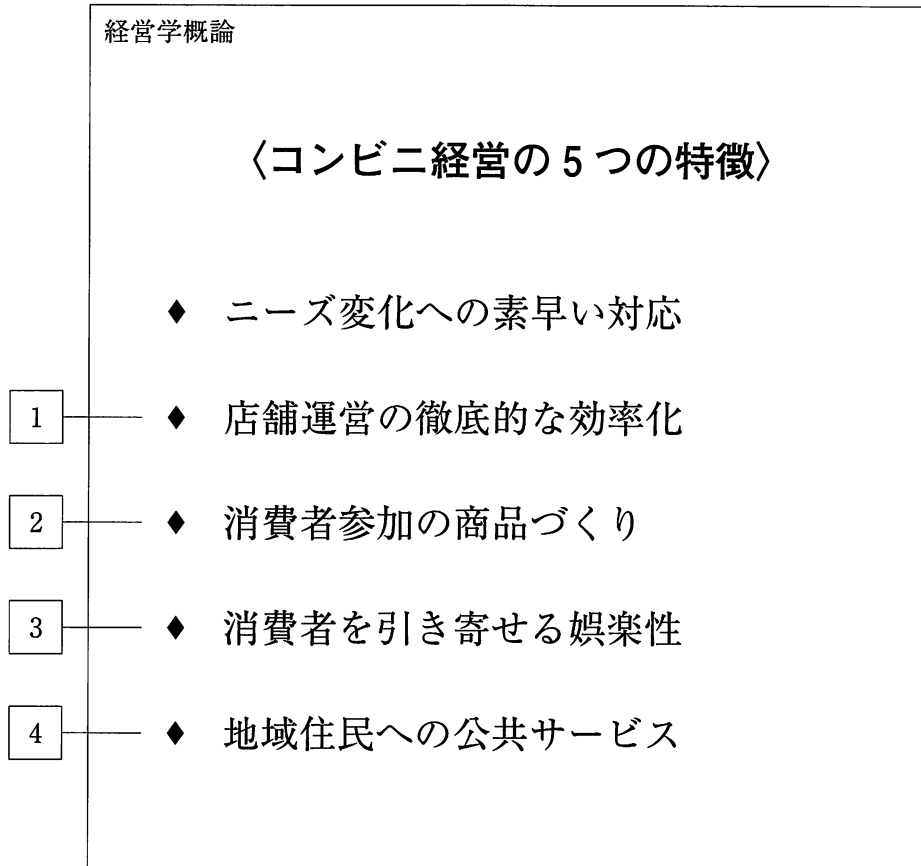


(海保博之『学習カトレーニング』岩波書店 を参考に作成)

2 番

先生が経営学の授業で、コンビニ経営の考え方について話しています。この先生が最後に説明するのは、資料のどの項目ですか。

2

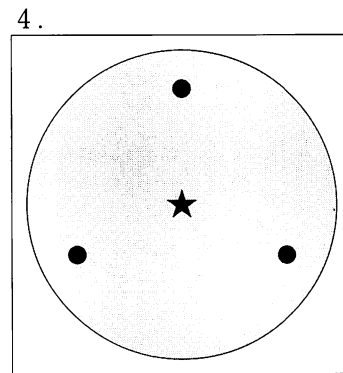
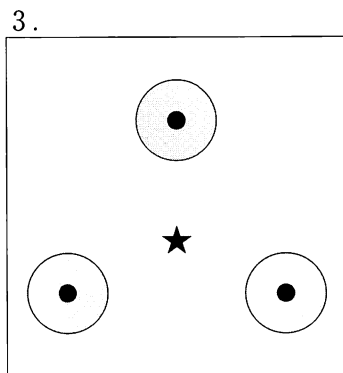
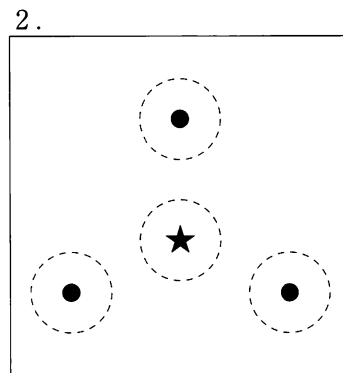
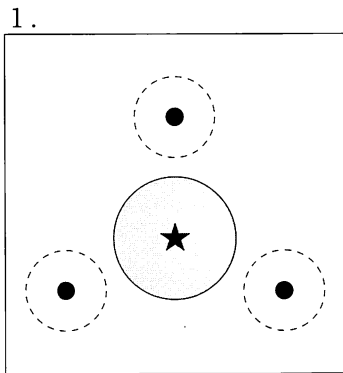
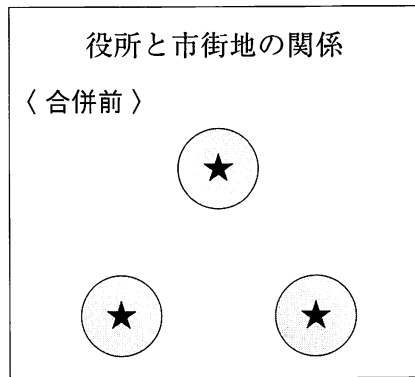


(吉岡秀子『コンビニだけが、なぜ強い?』朝日新聞出版 を参考に作成)

3番

先生が、複数の地方自治体が合併したことによる街の変化について説明しています。先生が説明している自治体は合併後、最終的にどのようになりましたか。

3



(片柳勉「都市合併の類型からみた『平成の大合併』」『地理』通巻608号 古今書院 を参考に作成)

4 番

男子学生が女子学生に、自分達で企画した講演会のスケジュールについて相談しています。
この男子学生は午後のスケジュールをどうすることにしましたか。

4

第7回日本文化研究会 スケジュール（予定）

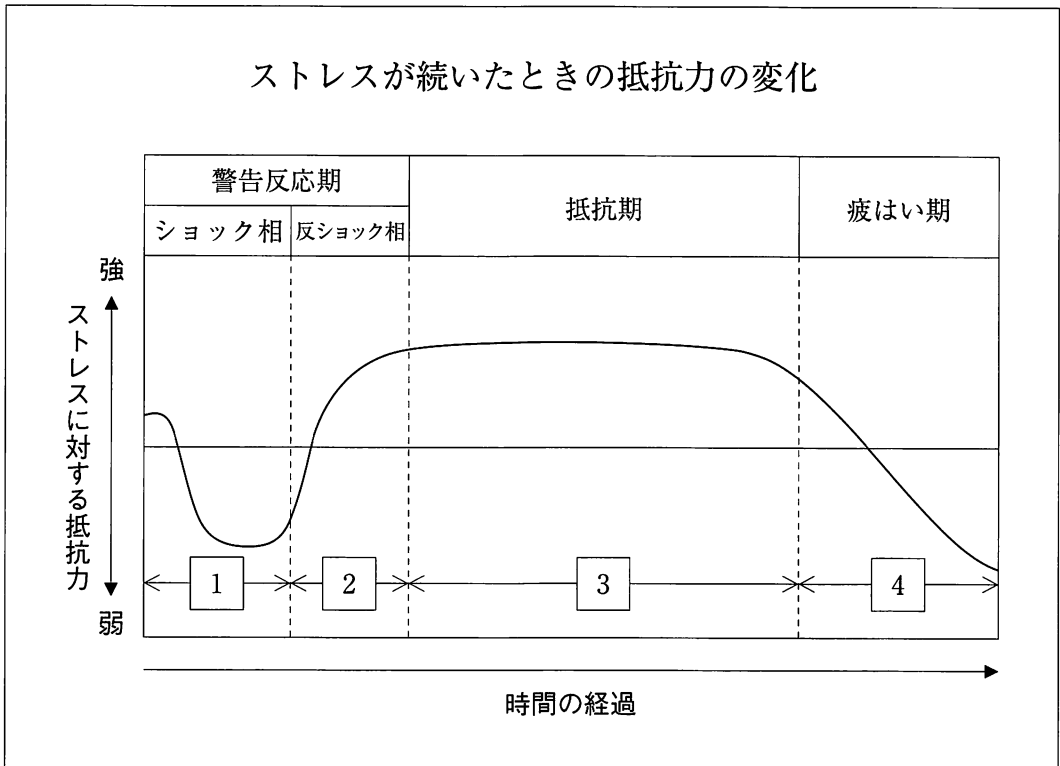
10：30～10：45	開会の言葉（主催者）	
10：45～12：00	特別講演「アジアの若者と日本文化」	岩崎妙蔵氏（高瀬大学）
12：00～13：00	昼食	
13：00～13：40	発表①「日本文化はどのように受け入れられたか——米国の場合」	岡本節子氏（都山大学）
13：40～14：20	発表②「フランスでの日本文化の受容」	阿部一郎氏（京東大学）
14：20～15：00	発表③「日本における伝統文化継承」	小林美智夫氏（京東大学）
15：00～15：20	休憩	
15：20～16：00	発表④「日本の若者にみられるアメリカ文化の影響」	高崎公男氏（谷丘大学）
16：00～17：00	パネルディスカッション	
17：00	閉会	

1. 発表① → 休憩 → 発表② → 発表③ → 発表④
2. 発表① → 発表② → 休憩 → 発表③ → 発表④
3. 発表① → 発表② → 発表③ → 休憩 → 発表④
4. 発表① → 発表② → 発表③ → 発表④ → 休憩

5 番

先生が、慢性的なストレスが続いたときのストレスに対する抵抗力の変化について話しています。この先生の話によると、新たなストレスにも対応できるのは、図のどの時期ですか。

5

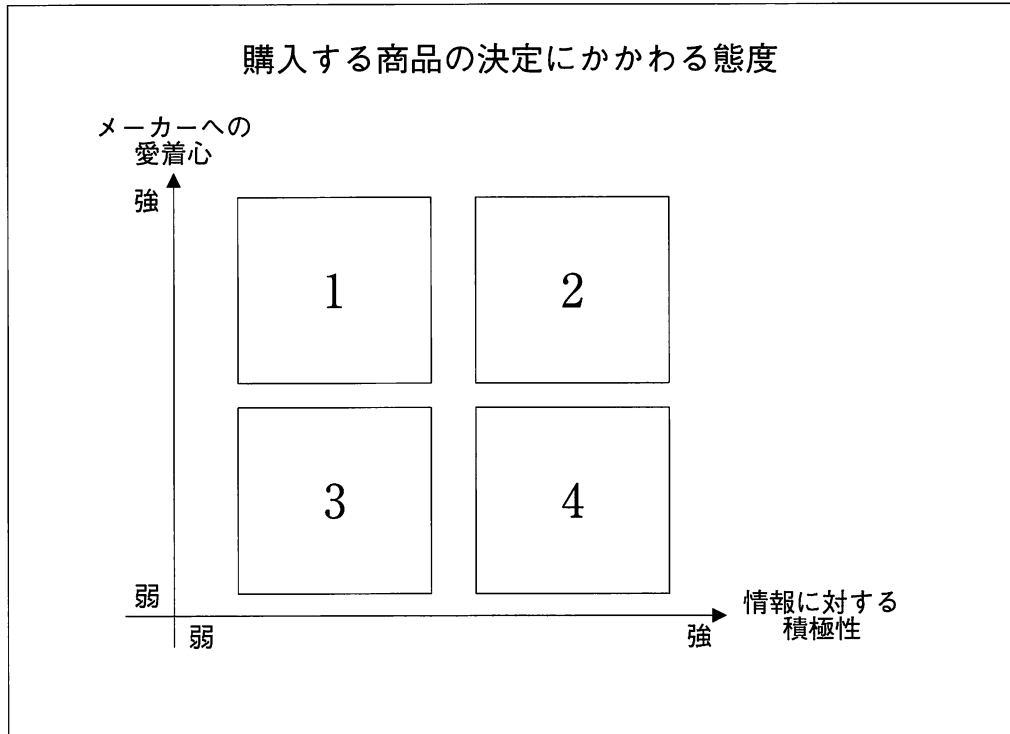


(星恵子『ストレスと免疫』講談社 を参考に作成)

6 番

先生が、マーケティングの授業で、購入する商品の決定にかかわる態度について話しています。この先生が最後に挙げるタイプの人、図のどこにあたりますか。

6

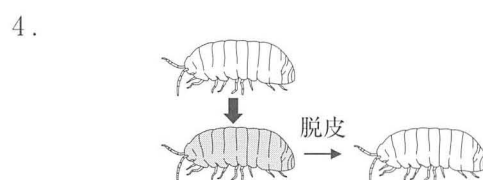
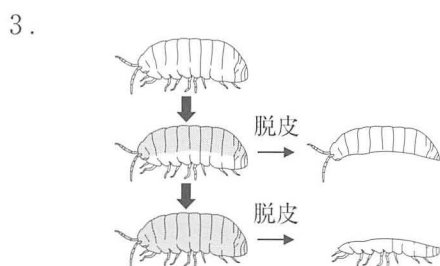
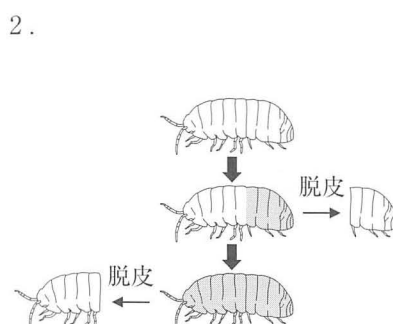
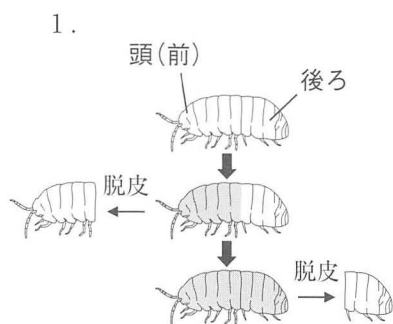


(DNPメディアバリュー研究チーム・清水聡 『「コミュニケーション型生活者」を探せ!』
日経BPコンサルティング を参考に作成)

7 番

先生が、ダンゴムシの脱皮について話しています。この先生の話によると、ダンゴムシはどのように脱皮しますか。

7

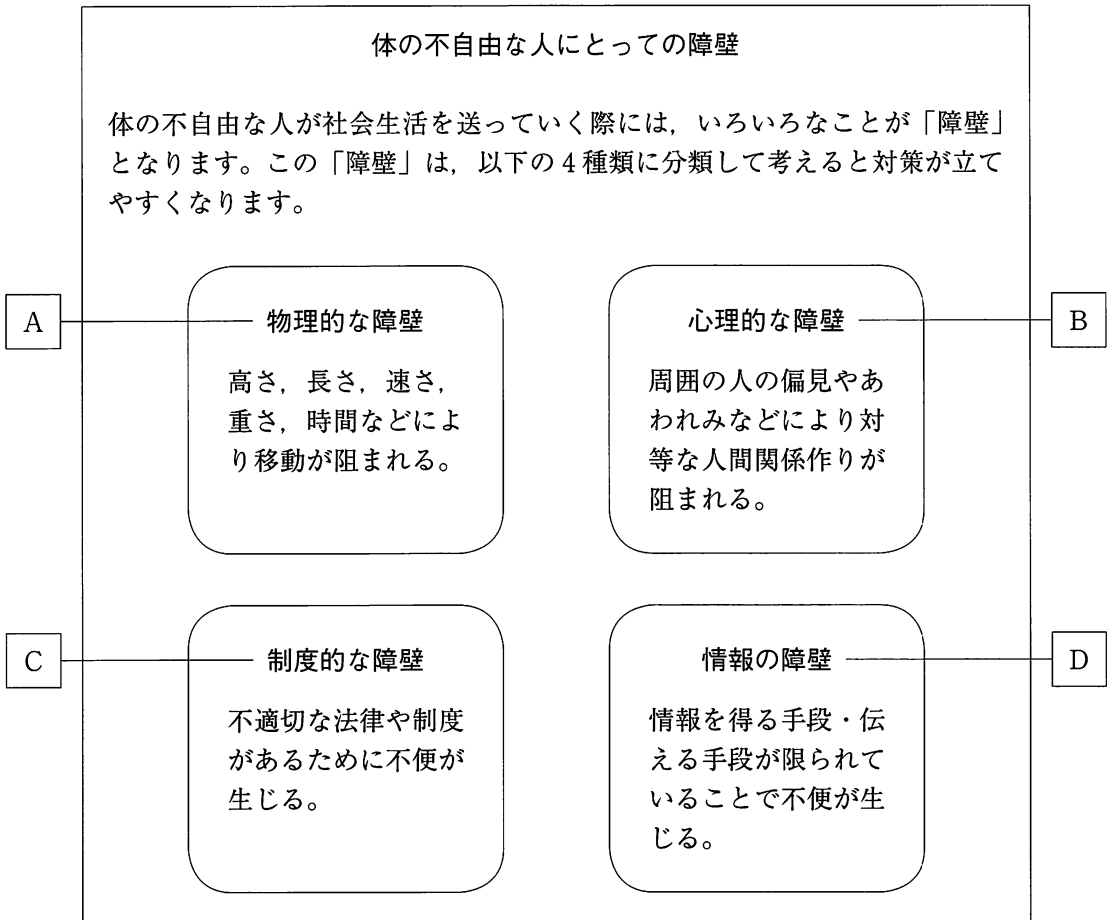


(森山徹『ダンゴムシに心はあるのか』PHP研究所 を参考に作成)

8 番

女性と男性が、資料を見ながら話し合いをしています。この二人は四つの障壁のうち、どれとどれについて対策を話し合っていますか。

8



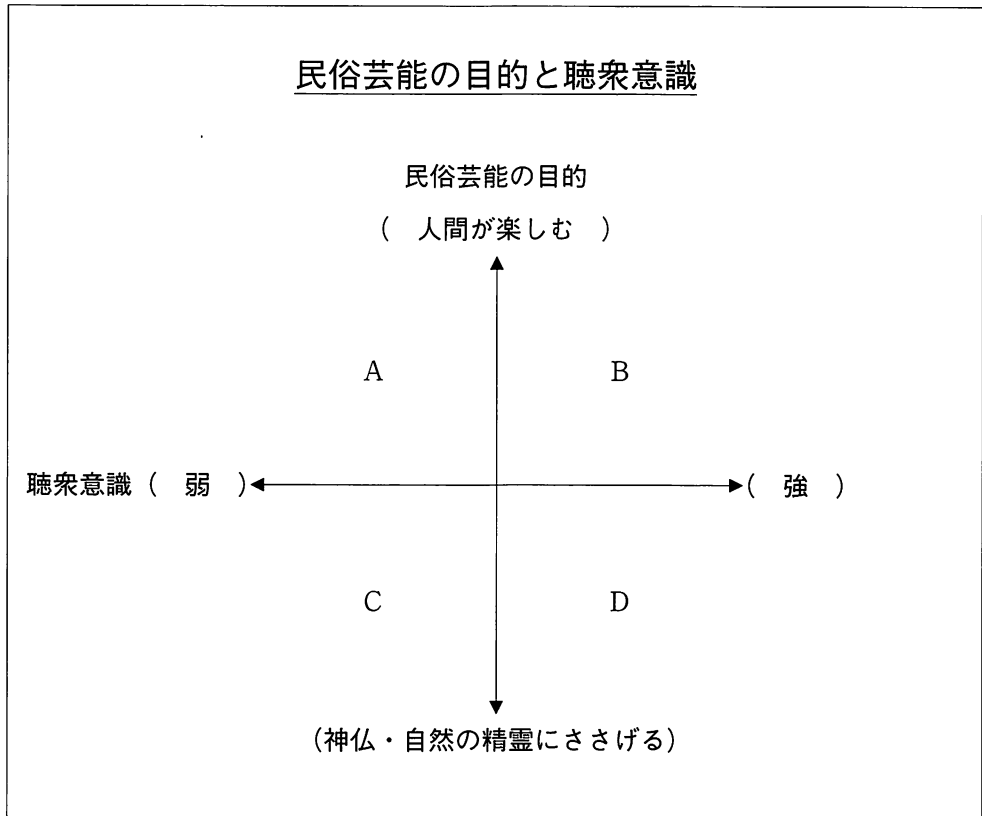
(もりすぐる『バリアフリー入門』緑風出版 を参考に作成)

1. AとC
2. AとD
3. BとC
4. BとD

9 番

先生が、民俗芸能について話しています。この先生が挙げた例は、図のどの部分からどの部分に変化しましたか。

9



(伊野義博「民俗音楽・民俗芸能における聴衆と異文化受容」)

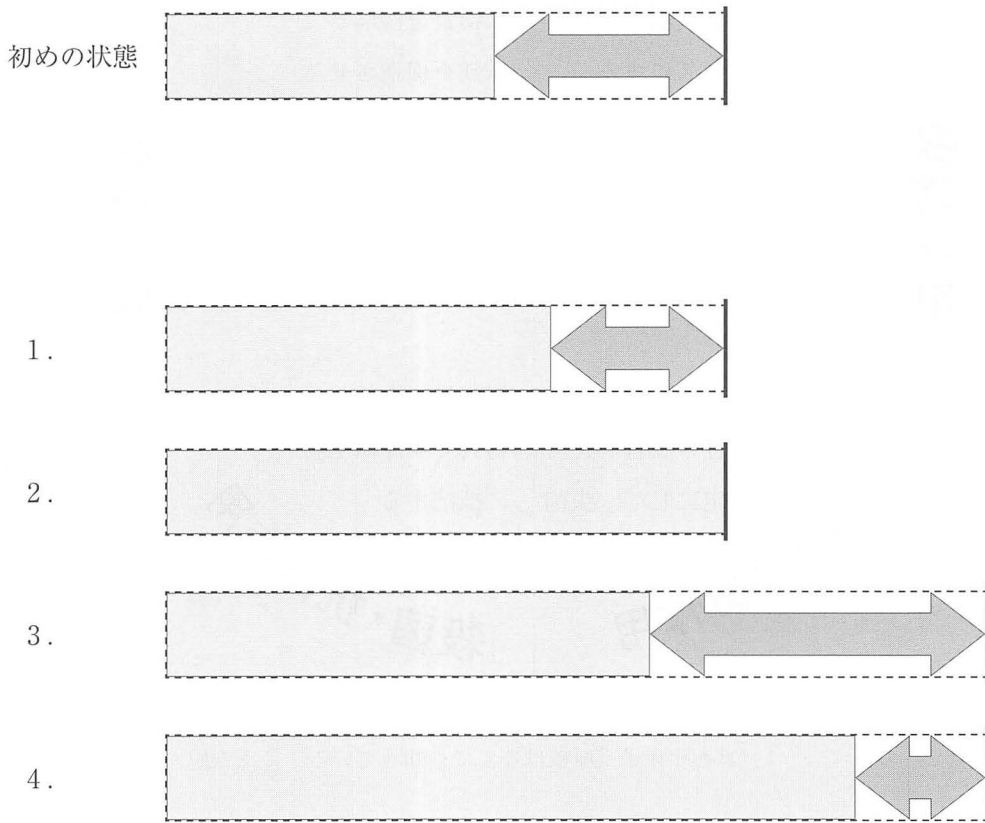
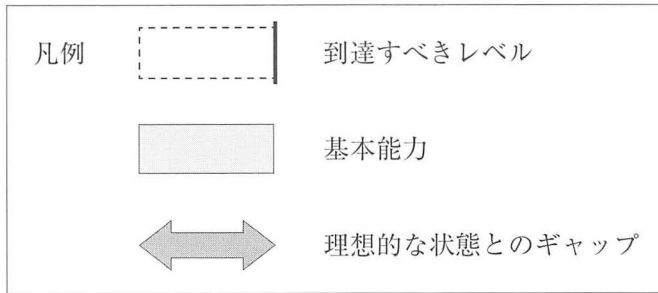
日本音楽表現学会編『音楽表現学のフィールド』東京堂出版 を参考に作成)

1. CからA
2. CからB
3. DからA
4. DからB

10番

先生が凡人と達人の違いについて話しています。この先生の話によると、達人はどの図の状態に変化しますか。

10

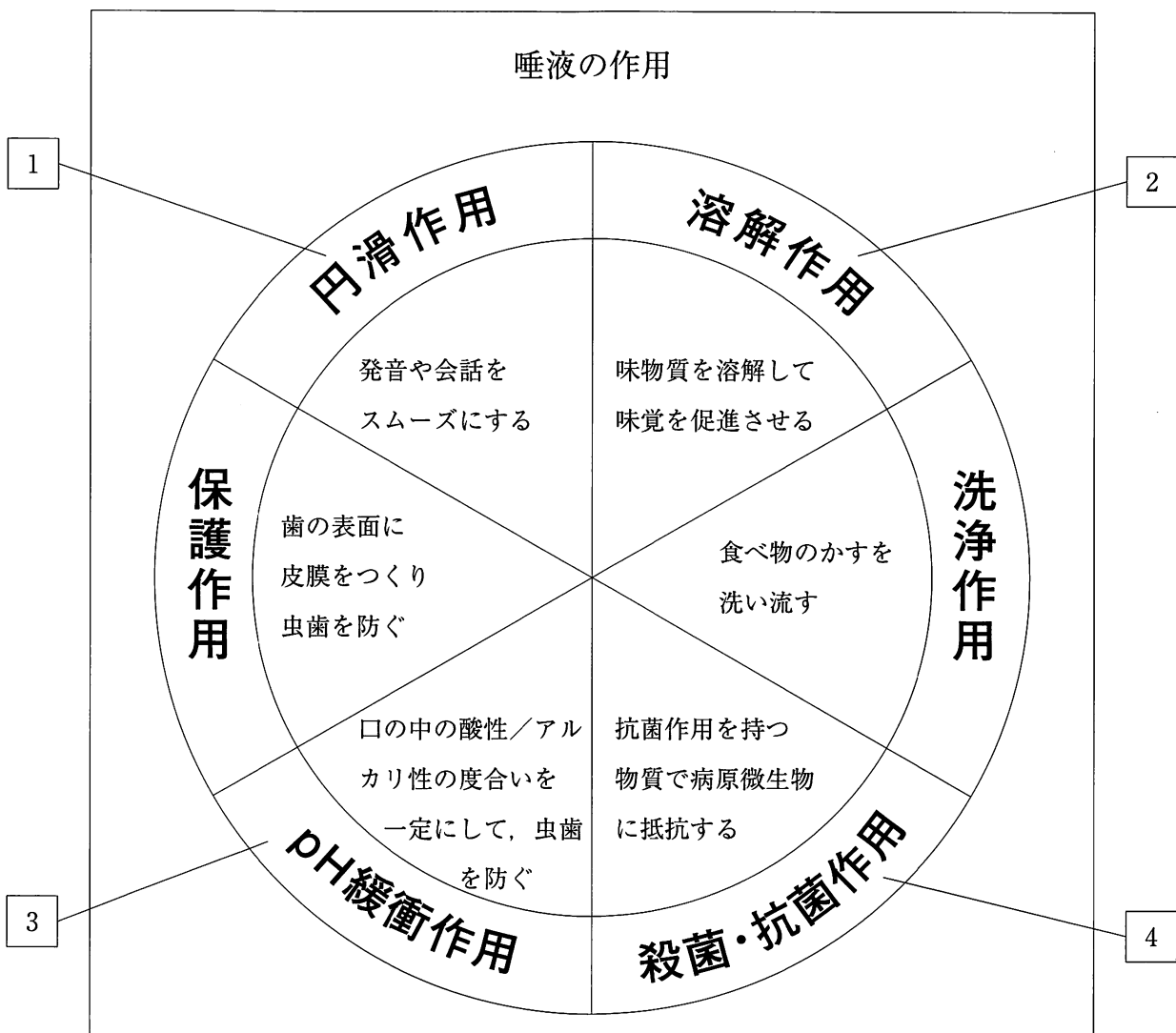


(細谷功『象の鼻としっぽ』梧桐書院 を参考に作成)

11番

先生が、唾液の作用について話しています。先生はこのあとの作用について説明しますか。

11

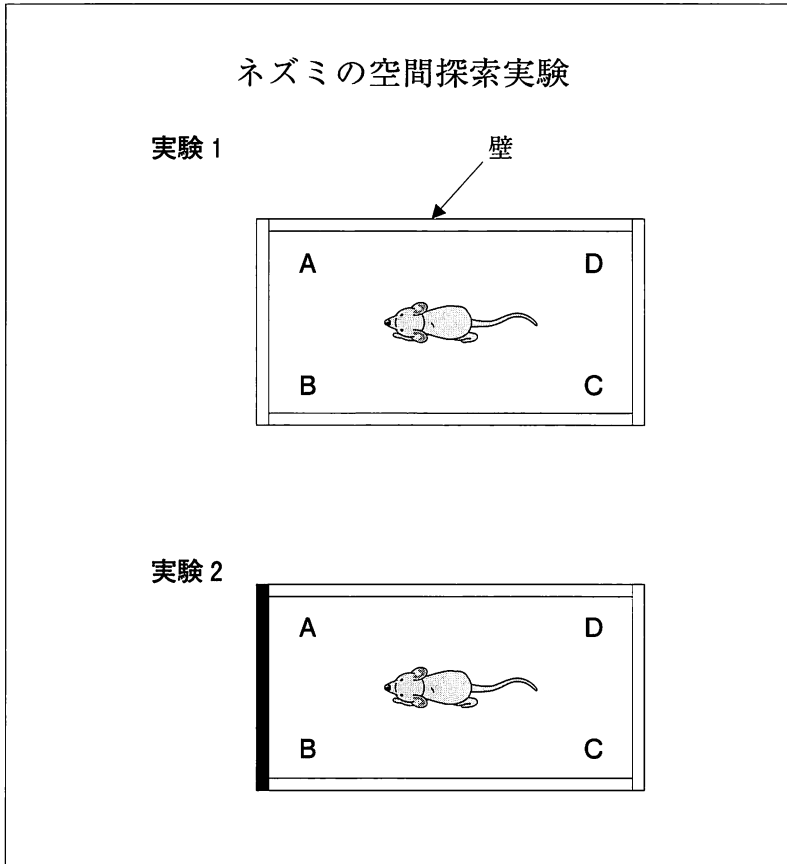


(宮西ナオ子『唾液はなんでも知っている!』三五館 を参考に作成)

12番

先生が授業でネズミを使った空間探索の実験について話しています。実験2では、ネズミは何を手がかりにえさのある場所を探すのだと考えられますか。

12



(今井むつみ『ことばと思考』岩波書店 を参考に作成)

1. 壁の長さ
2. 壁の色
3. 壁の長さとは色
4. 壁の高さ

——— このページには問題はありません。 ———

平成25年度日本留学試験(第1回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を349, 350ページに掲載

読解			
問	解答欄	正解	
I	1	3	
II	2	2	
III	3	2	
IV	4	1	
V	5	2	
VI	6	3	
VII	7	4	
VIII	8	2	
IX	9	3	
X	10	3	
XI	問1	11	1
	問2	12	3
XII	問1	13	4
	問2	14	2
XIII	問1	15	4
	問2	16	2
XIV	問1	17	2
	問2	18	4
XV	問1	19	1
	問2	20	4
XVI	問1	21	3
	問2	22	2
XVII	問1	23	1
	問2	24	2
	問3	25	3

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解	問	解答欄	正解
1番	1	4	13番	13	4
2番	2	3	14番	14	3
3番	3	1	15番	15	1
4番	4	2	16番	16	3
5番	5	2	17番	17	4
6番	6	4	18番	18	4
7番	7	2	19番	19	3
8番	8	2	20番	20	3
9番	9	2	21番	21	1
10番	10	3	22番	22	1
11番	11	4	23番	23	2
12番	12	1	24番	24	2
			25番	25	2
			26番	26	1
			27番	27	3

「記述」問題解答例 ①

文化や言語が異なる場所に住んで、そこに	20
住む人と良い関係を築こうと思ったら、お互	40
いのことをよく知ることが大切だ。私は、「そ	60
の地域の文化を学ぶ」ことと「自分の文化を	80
相手に伝える」ことの両方をしようと思う。	100
一般的には、新しく移り住む人がその場所	120
の言語や文化を学ぶことが期待される。しか	140
し、新しく来た人が相手に合わせてばかりい	160
ると、次第にその人自身の持っていた価値観	180
が揺らぎ、ストレスがたまるのではないか。	200
私には、結婚して私の国に住んでいる外国人	220
の友人がいるが、「だんだん自分が自分でな	240
くなるようで不安になることがある」と話し	260
ていた。	280
だから、私は、相手に合わせてばかりでな	300
く、自分の文化も伝えた方がいいと思う。伝	320
え合うことで、互いに少しずつ歩み寄り、関	340
係を深めていくことができると思う。文化や	360
言語の異なる人間同士は、それぞれの事情が	380
あるから、時には問題が起こることもあるか	400
もしれない。しかし、文化の伝え合いによっ	420
て互いの理解が深まっていれば、たとえ何か	440
問題が起きても、解決しやすいのではないか	460
と考える。	480
	500

「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、得点を表示します。

得点	基準
50点	(レベルS) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45点	(レベルA) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
40点	
35点	(レベルB) 課題にほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
30点	
25点	(レベルC) 課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
20点	
10点	(レベルD) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0点	(NA)* 採点がなされるための条件を満たさない。

レベルA, B, Cについては、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

*0点 (NA) に該当する答案は以下のとおりである。

- 白紙である。
- 課題文をそのまま書いた部分を除いて、日本語で書かれた部分が40字に満たない。
- 与えられた課題（1と2）の両方に解答している。
- 課題文をそのまま書いた部分を除くと、与えられた課題（1と2）のうち、どちらについて書かれているか判断できない。
- 問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を引き写している。
- その他、委員会の議を経て、0点とするに至る理由があると判断されたもの。